

第 18 回

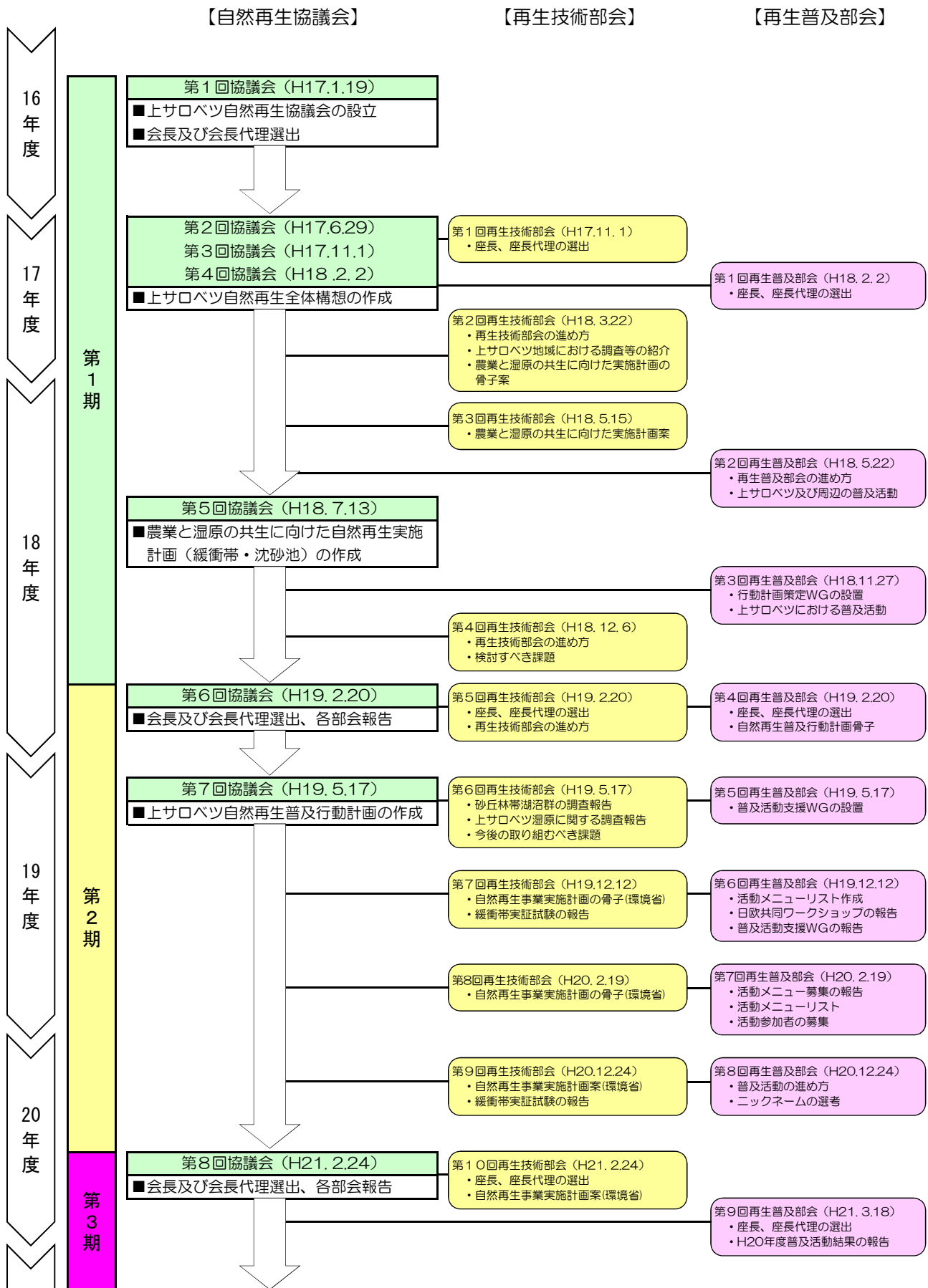
上サロベツ自然再生協議会

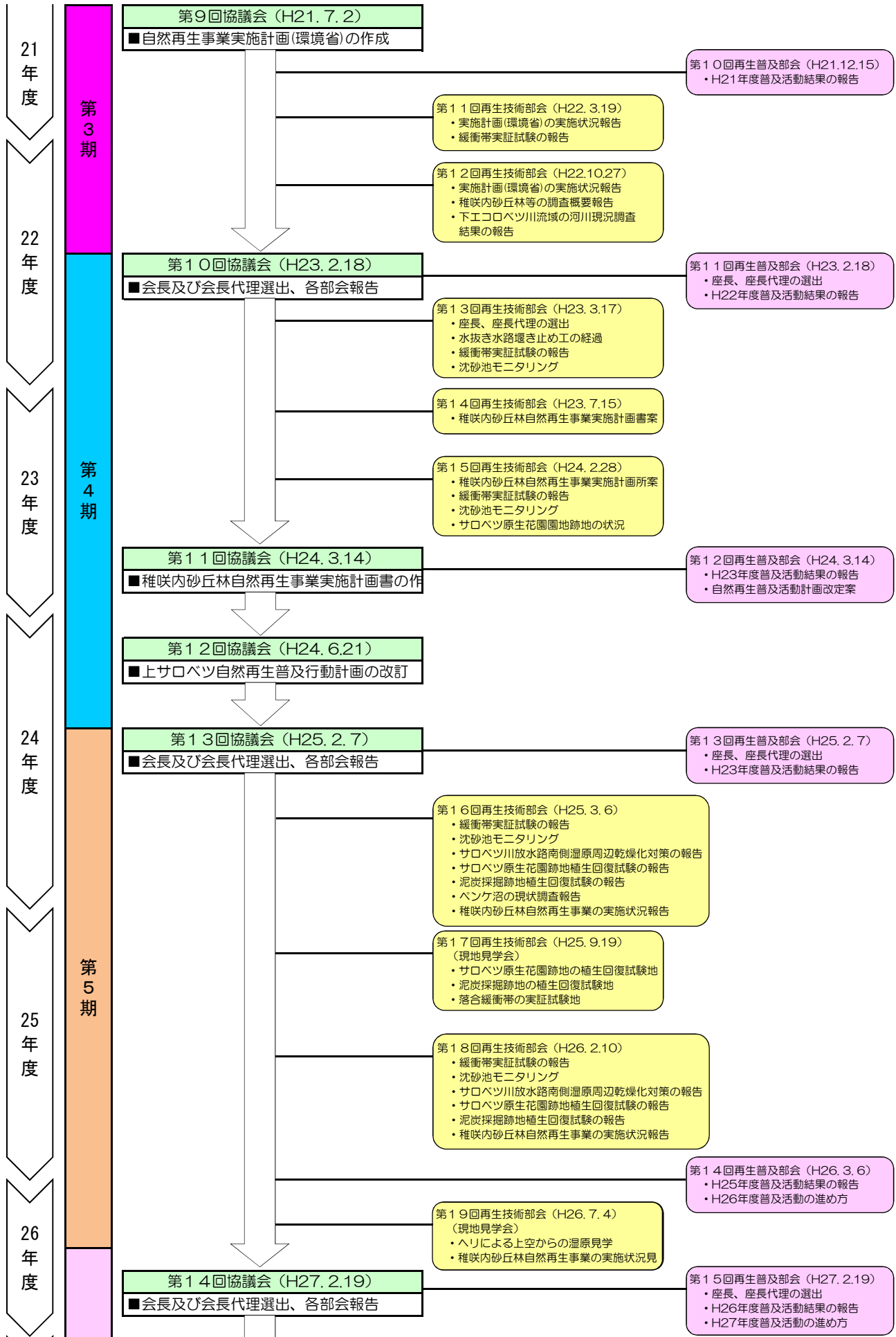
第 7 期 協 議 会 活 動 経 緯 に つ い て

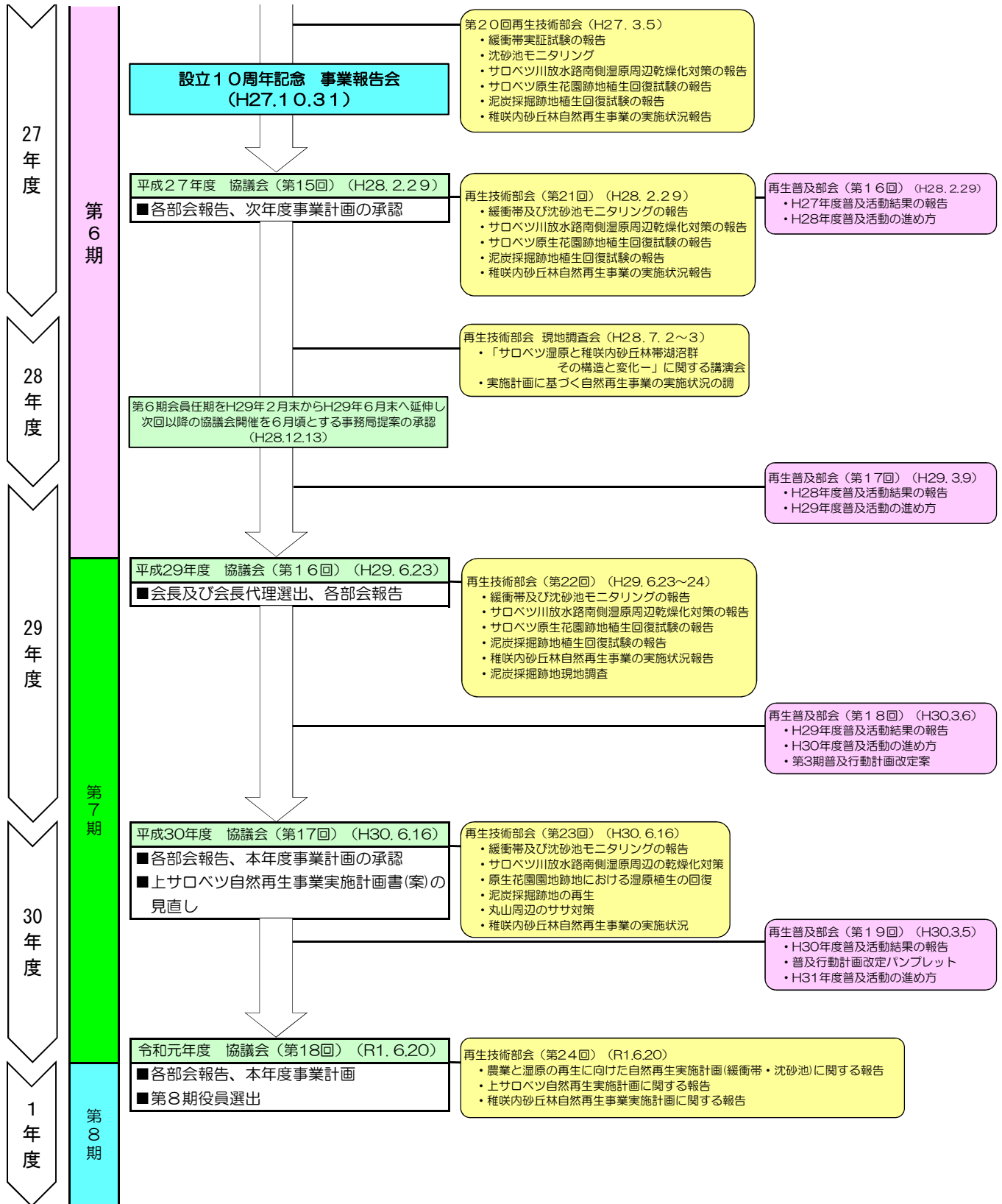
令和元年 6 月 2 0 日

上サロベツ自然再生協議会運営事務局

上サロベツ自然再生協議会の経緯







下エベコロベツ川～ペンケ沼の現況調査を実施

ペンケ沼は近年、上流からの土砂の堆積、水温上昇、水質悪化などの環境悪化が懸念されていることから、最新の状況を把握するため、NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク、環境省北海道地方環境事務所、北海道稚内建設管理部は下エベコロベツ川下流からペンケ沼流入部までの3km区間において、現況調査を行いました。その結果、河口部の土砂堆積やゴミの集積が確認されました。

◇ 現地調査 (H29.8.29)



【水深の計測状況】



【現況調査及び清掃活動の様子】



平成29年度上サロベツ自然再生協議会第18回再生普及部会を開催

平成30年3月6日に豊富町定住支援センター（ふらっと★きた）にて、第18回再生普及部会が開催されました。会議ではエコモ・サポーターの田中代表より平成29年度の活動報告、事務局より第3期上サロベツ自然再生普及行動計画の策定、および平成30年度の普及活動の進め方についての議論の結果を報告しました。それに対し、行動計画の策定については、官公庁が主体であった第1期・第2期に対し、第3期は地元が中心となっていくとした方針自体は承認するが、担い手の確保や具体的な活動の進め方を今後事務局を中心に議論し、次回以降の協議会で結果を報告することとしました。今後の普及活動の進め方については、多くの方に参加して頂く方策について意見を頂きました。その後、部会はこれら3つの議案について承認して閉会しました。また、会場の定住支援センターでは、普及部会に開催に合わせて、「サロベツ・エコモ・プロジェクト活動報告展」を開催しました。



【エコモ・サポーター
田中代表による報告】



【サロベツ・エコモ・プロ
ジェクト活動報告展】

平成29年度 農業農村工学会賞『上野賞』を受賞

豊富町、サロベツ農事連絡会議、北海道開発局稚内開発建設部の三者は、サロベツ湿原再生を目指す農地と湿原の共生に向け、平成18年度より『緩衝帯』の設置に取り組んできましたが、この取組が「農業農村工学に関する事業の新たな分野の発展に大きく寄与」するものと認められ、今年度の農業農村工学会賞『上野賞』を共同受賞しました。

サロベツ湿原では、乾燥化による湿原環境への影響が懸念される一方、湿原に隣接する農地では、泥炭地ゆへの地盤沈下による排水機能の低下や降雨後の湛水被害・過湿障害が問題となっておりました。このため、稚内開発建設部が実施する国営総合農地防災事業「サロベツ地区」では、湿原の乾燥化による湿原環境への影響を緩和するため、湿原に隣接する農地内に『緩衝帯』を設け、農地側としての排水機能の確保と湿原の保全に必要な地下水位の維持の両立を目指した取組を行ってきました。この『緩衝帯』の設置は、検討段階から設計・施工・効果の検証まで官民学が連携して総合的に取り組んできたことが、今後、環境保全と農業振興を両立させる事業の進め方のモデルになり得るものとして高く評価されたところです。

なお、道内からの『上野賞』の受賞は、8年ぶり6回目となります。

【上野賞とは】

上野賞は、農業土木学の開祖である(故)上野英三郎先生の業績を記念し、公益社団法人農業農村工学会が授与する学会賞の一つとして昭和45年に創設され「農業農村工学に関する事業の新しい分野の発展に寄与すると認められる業績を上げた組織・団体に授与」される賞です。

なお、(故)上野英三郎先生は、渋谷駅前に銅像が建立されている「忠犬ハチ公」の飼い主としても有名な方です。



(公社)農業農村工学会 久保会長より賞状の授与
【サロベツ農事連絡会議 議長 山本寿昭氏】



上野賞受賞挨拶
【豊富町 副町長 川原清己氏】



上野賞受賞記念撮影（左から）
豊富町【川原 副町長】
サロベツ農事連絡会議【山本 議長】
上サロベツ自然再生協議会【梅田 会長】
北海道開発局稚内開発建設部【矢部 稚内農業事務所長】



上野賞受賞の賞状と記念品の箱

第23回再生技術部会の開催

平成30年6月16日（土）13時30分より、豊富町定住支援センター（ふらっと★きた）多目的ホールにおいて、第23回再生技術部会が会員25名ほか、一般傍聴者を含め約60名の参加により開催されました。

当日は、「緩衝帯・沈砂池のモニタリング」について北海道開発局稚内開発建設部から、「自然再生事業の実施状況と上サロベツ自然再生実施計画書（案）」について環境省北海道地方環境事務所から、「稚咲内砂丘林自然再生事業平成29年度の実施状況」について林野庁北海道森林管理局から報告がありました。

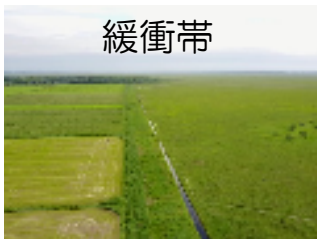


各報告に対して、会場から活発な意見が出され、自然再生事業に対する関心の高さがうかがえました。

【再生技術部会の様子】

◇ 取組状況についての報告

緩衝帯



沈砂池



【北海道開発局稚内開発建設部】

【緩衝帯】

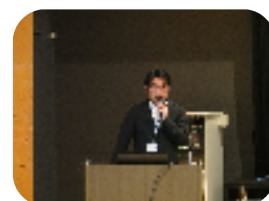
- 湿原内の地下水位は保たれており、緩衝帯の湿原地下水位保持効果は発揮されている。

【沈砂池】

- 沈砂池全体で累計約1,800m³の土砂が捕捉されており、下流域への流下土砂軽減効果は発揮されている。

【地元管理移行後のモニタリング計画（案）】

- これまでのモニタリング結果を踏まえ、豊富町及びサロベツ農事連絡会議と協議の上、各モニタリング項目について、効率的な手法を検討中である。



【環境省稚内自然保護官事務所】

【サロベツ川放水路南側湿原周辺の乾燥化対策】

- 地下水位が上昇、もしくは維持されており、目標はおおむね達成されている。



【原生花園園地跡地における湿原植物の回復】

- 植生は順調に回復している。植生遷移の途中のため引き続き中長期的な視点でモニタリングを継続する。

ササの剥ぎ取り区



【泥炭採掘跡地の再生】

- 裸地の植生は回復してきており、今後はボランティア等による植生回復を主体に実施予定。

【丸山周辺のササ対策】

- ササの剥ぎ取り、溝の造成を行った後の除去効果と植生回復状況を検証中。

【林野庁北海道森林管理局】



【砂丘林帯湖沼群の水位低下の抑制】

- 堆雪柵による雪溜め効果は発揮されている。
- 植栽木については植栽地の選定が必要。



【砂丘林の修復および保全】

- 立ち枯れ箇所では自然に更新が進んでいく見込み。
- 現状を把握するため、エゾシカ食害影響調査を実施した。

第17回上サロベツ自然再生協議会の開催

再生技術部会に引き続き、平成30年度上サロベツ自然再生協議会が開催されました。梅田会長の挨拶後、再生技術部会の井上座長、再生普及部会の吉村座長より、それぞれの活動報告がされました。

その後、環境省より「上サロベツ自然再生事業実施計画書の見直し」、及び「上サロベツ自然再生普及行動計画の改訂」について説明があり、「上サロベツ自然再生事業実施計画書の見直し」については、変更箇所や変更理由を簡潔・明確に説明する資料を作成することをもって了承とされました。

また、「上サロベツ自然再生普及行動計画の改訂」については、「エコモー☆サポーター」の役割を明確にし、普及再生部会と連携して活動を進めていくことが確認され了承されました。

【再生協議会の様子】



最後に、情報提供として、NPO法人サロベツ・エコ・ネットワークより「自然再生全国会議参加報告」、北海道開発局稚内開発建設部より「農業農村工学会賞『上野賞』受賞の紹介」がされ、全ての議事が滞りなく終了しました。

サロベツ再生通信

2019.1発行 第28号

上サロベツ自然再生協議会運営事務局

NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク
豊富町
環境省北海道地方環境事務所
北海道開発局稚内開発建設部
北海道宗谷総合振興局稚内建設管理部
林野庁北海道森林管理局

サロベツ・エコモーDay2018開催

昨年9/22(土)に、サロベツ湿原センターを会場に「湿原と農業の共生」をテーマとした『サロベツ・エコモーDay』が開催されました。今回が7回目となったこのイベントは、サロベツ湿原の自然や、広大な自然の中で育まれた農業、そして自然再生の取り組みを身近に感じていただける楽しい催しです。

会場では、自然再生に関するパネルを見てクイズに答えると牛乳がもらえるクイズラリーや農業機械の展示のほか、はしご車からの湿原展望、バターづくり体験、特産品の直売、フリーマーケット、ゆるキャラとの写真撮影、クラフト体験、講演会など、盛り沢山の内容でした。



当日は、地元の親子連れを中心に161名の方にお越しいただきました。次回開催の際もぜひ多くの方々のご参加をお待ちしております！



第11回 エコモー交流会開催

「サロベツ・エコモー・プロジェクト」は、サロベツの自然や文化を楽しむ活動の環を広げ、湿原と農業が共生する地域づくりを進めるためのプロジェクトです。今年は34活動の登録がありました。

このプロジェクトに登録して、活動されている方が年一回集まり、日頃の活動を報告したり親睦を深める催しが「エコモー交流会」です。

昨年12/1(土)に開催された交流会では、豊富町定住支援センター「ふらっと☆きた」を会場に「なまら！！サロベツ∞クラブ」の子ども達や「豊富高校ボランティア部」など4団体から報告がありました。当日は42名の方にお越しいただきました。



報告会の後は、豊富高校ボランティア部の皆さんが作って下さった豊富牛乳を使った美味しいお菓子をいただきながら、参加者同士で楽しく親睦を深めました。

エコモ- Dayの様子

自然再生
クイズラリー

バターづくり体験

オリジナルスタンプで
クラフト体験



子どもに人気の輪なげ



大学生と高校生の
木道ガイド

限定メニュー
鮭フライ



トラクターの展示 &
ゆるキャラも登場!



農研機構・江川氏による
最新研究の講演会



はしご車は今回も
大人気でした



地元の特産品も登場



牧草ロールとお母さん方の
フリーマーケット

エコモ- 交流会の様子

なまら!!サロベツ∞
クラブの子どもたち

NPO法人サロベツ・エコ・ネット
ワークの吉原氏

↓エコモ-☆サポーター吉村代表の挨拶



法昌寺とんこり堂
稲垣氏の発表



環境省・有山氏より(↑)第3期自然再生
普及行動計画の改訂内容についての説明

豊富高校ボランティア
部の皆さん→



会場後方では、活動紹介パネルや
作品の展示も行われました!



美味しい手作りスイーツ
をいただきながらの交流

高校生提供のミルク餃子、
タルト、パウンドケーキ



「上サロベツ自然再生協議会」運営事務局 代表
〒098-4110 天塩郡豊富町大通6丁目 豊富町商工観光課
TEL: 0162-82-1001 FAX: 0162-82-2806
E-mail: saisei@town.toyotomi.hokkaido.jp

サロベツの自然再生については、
<http://www.town.toyotomi.hokkaido.jp/>
<http://sarobetsu-saisei.jp/>
もご覧ください。